

ケーティビー
KTB工法

問合せ先：(株)ケーティビー 〒160 東京都新宿区西新宿8-20-2(アイリスビル) TEL.03-3369-7211(代表) FAX.03-3369-7339

1. 工法の概要

斜張橋の斜張ケーブルの技術を応用して開発をしたものである。また、一般ケーブルの仕様と同様に取りあつかえる。テンドンの使用方法および防錆方法としては次のケースが考えられる。

- ① 裸PCストランドに外管を用いてグラウトを行う。
- ② アンボンドPCストランドを使用する。
- ③ エポキシ系塗料による完全塗装型PCストランド(SCストランド)を使用する。
- ④ メッキ付きPCストランドを使用する。
- ⑤ その他のテンドンを使用する

2. 緊張容量および定着装置

テンドンの構成では、PCストランドは、 $\phi 12.4\text{mm}$,

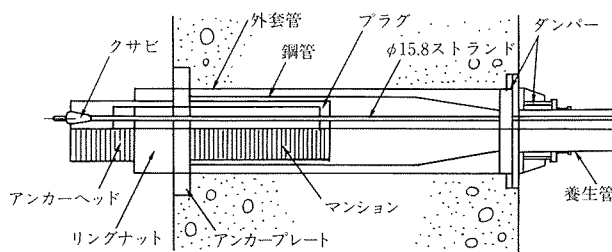


図-1 定着具

$\phi 12.7\text{mm}$, $\phi 15.2\text{mm}$ とする。

定着具は、一般ケーブルおよび斜張ケーブルに用いているものに防錆、保護を加えることによりすべて使用できる。表-1, 図-1, 2に示す。

3. 保護管

ポリエチレン管、鋼管を使用する。アンボンド、メッキ付きストランド、SCストランド使用の場合は、保護管は省略も考えられる。

4. 偏向具

偏向部は、二重管を用いる。鋼管とポリエチレン管とを用いる。

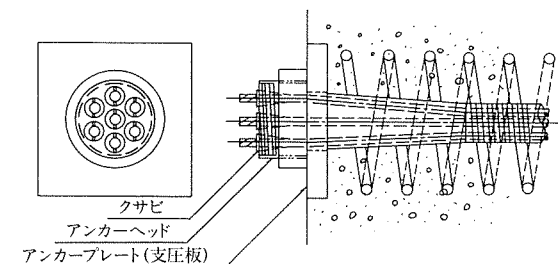


図-2 一般定着具

表-1 PC鋼より線の諸元

[単位:KN (tf)]

ストラ ンド径	UNIT	PC鋼より線本数 <i>n</i>	鋼材の断面積 (mm ²)	単位質量 (kg/m)	シースの直径 内径/外径 (mm)	引張荷重 <i>P_u</i>	降伏荷重 <i>P_y</i>	建築学会	
								プレストレス 導入時 0.85 <i>P_y</i>	定着完了時 0.8 <i>P_y</i>
$\phi 12.4$	K 5-12	12	1 114.8	8.748		1 920 (195.6)	1 632 (166.8)	1 387 (141.8)	1 306 (133.4)
	K 5-19	19	1 765.1	13.851		3 040 (309.7)	2 584 (264.1)	2 196 (224.5)	2 067 (211.3)
$\phi 12.7$	K 5-12	12	1 184.5	9.288		2 196 (224.4)	1 872 (190.8)	1 591 (162.18)	1 498 (152.64)
	K 5-19	19	1 875.5	14.706		3 477 (355.3)	2 964 (302.1)	2 519 (256.79)	2 371 (241.68)
$\phi 15.2$	K 6-12	12	1 664.4	13.212		3 132 (319.2)	2 664 (271.2)	2 264 (230.52)	2 131 (216.96)
	K 6-19	19	2 635.3	20.919	95/102	4 959 (505.4)	4 218 (429.4)	3 585 (364.99)	3 374 (343.52)